

個別活動 モンテッソーリ活動

大 好 き お 仕 事

ニドのモンテッソーリ活動



トレー付きの箱とボール

穴の開いた箱の中にボールを入れると、下のトレーに出てきます。箱の底に少し傾斜があり、ボールを入れるとトレーの中からボールがいつも出てきます。繰り返し行うことで集中力、目と手の協応の発達の援助をします。



掛けがね

引っ掛ける、引っ掛けられるがペアになっており、色々な手の動きを使って開けます。開くと、季節の植物や乗り物の写真が現れ、子どもたちは何度も開けたり、閉めたりを繰り返します。自立を促していきます。

I Cのモンテッソーリ活動



板落とし

板の厚みとピッタリ同じサイズの穴に、小さな板を落とします。小さな穴をねらう難しさ、カタンという落ちたときの音を楽しみます。



絵の具

筆を使い、イーゼルに絵を描くお仕事です。スモックを着て行い、容器の縁で筆を洗って絵の具が垂れないようにします。鮮やかな色でスルスルと描ける感触が魅力的です。

プライマリーのモンテッソーリ活動

はめ込み大陸地図は、青バッチさんが毎朝登園しては「今日はこれのつづき！」と、最近熱中しているお仕事のひとつです。大陸ごとに一枚のパズルになっていて、各国の一つひとつに色がついたピースがあります。

まずはピースを枠から外して戻すことで、パズルとして国々の形や位置関係に触れ、その上に見本を見ながら国名の小さなカードを並べていきます。その後、白地図にパズルと同じ色を塗り、絵の具で海を塗り、国名の紙を切って貼り…完成した塗り絵を台紙に貼ったり、全部の大陸をまとめて綴じたりするのは、大きな作品ができる達成感があるようです。

この大陸地図の前には、砂地球儀や色つき地球儀、はめ込み世界地図に取り組みます。また、アジア大陸が終わって初めて日本地図に進むことができます。これは、全体から細部へ、というモンテッソーリの考え方によるものです。

パズルや塗り絵を楽しみながら、国の名前や場所を覚え、色々な国があることを知っていきます。吸収精神でどんどん覚えていく子ども達。我々大人が知らない国や、学校で習って以来すっかり忘れていた国も知っているかもしれません…

はめ込み大陸地図 (感覚教育・文化・ 地理)

